

TTC ゆった〜り山行実施記録表 v.1 2021年12月17日 報告者:Y.M.

山行名	房総鋸山・をくづれ水仙郷ハイキング(285m) (千葉県富津市・鋸南町)						
実施日	令和3年12月15日(金) 日帰り マイクロバス利用						
天候/参加人員	天候:終日晴天、 レベル:★ 参加者:17名(うちメンバ12名)(申込17名)						
パートスタッフ	省略						
参加メンバ	17名						
費用	費用4,800円(交通費4,059円+日本寺拝観料700円+カンパ金41円)						
一人当たり 4,800円 (カンパ金:700)	交通費:マイクロバスレンタル料:¥30,360、ドライバ謝礼:¥20,000、燃料代(@140x(360/5))¥10,080、 有料道路:(往路¥4,230:厚木IC⇒東名・首都高湾岸・アクリン・館山道⇒富津金谷IC、帰路 ¥4,330:鋸南保田IC⇒アクリン⇒厚木IC)¥8,560、/交通費合計:¥69,000/17人⇒@4,059 日本寺拝観料(@700x17人)¥11,900/支出合計¥80,900/17人⇒@4,759 集金(@4,800x17人)¥81,600-支出¥80,900=残金¥700(カンパ金)						
歩行/行動時間	鋸山登山(車力道⇒地獄ノキ⇒日本寺P)			往路の交通渋滞等で、鋸岳下山が計画から約45分遅れたため、をくづれ水仙郷での行動を約25分に短縮して帰路についた。 本日の歩行数:約12,000歩			
	歩行	休憩・見学	行動				
計画	2:50	1:00	3:50				
実行*	2:18	1:48	4:06				
実行コースタイム記録							
東名道/保土ヶ谷BP/首都高湾岸線/アクリン (休憩)							
始発鷲尾=(荻野新宿・及川中原・林)=旧ヨコノ前=厚木IC=横浜町田IC=狩場IC=川崎浮島JCT=海老原PA=	6:30	6:50	7:02	7:22	8:06	8:48	8:59/9:24
館山道 (マイクロバス下車/トイレ) 徒歩25分 (ストレッチ体操) 40分 10分 9分							
金田料金所=富津金谷IC=JR浜金谷駅-関東ふれあい道分岐-車力道登山口-鋸山頂上コース分岐-石舞台-関東ふれ	9:28	10:00	10:05/10:19	10:44/10:50	11:30/11:40	11:50/12:05	12:14
あい道上部分岐-日本寺北口料金所-百尺観音-地獄ノキ-(西国観音・百鉢観音・千五百羅漢道・維摩窟・不動滝・弘法		6分	8分(昼食/標高285m)				
大師護摩窟) -大仏-日本寺東口P=をくづれ水仙郷=道の駅保田小学校=鋸南保田IC=金田料金所=海ほたる	14:10/14:20	14:25/14:44	15:08/15:32	15:48/16:13	16:16	17:20	17:35/18:03
=浮島川崎JCT=狩場IC=横浜町田IC=厚木IC=旧ヨコノ前=(林・及川中原・荻野新宿)=終点鷲尾	18:33	19:05	19:22	19:36	19:45		20:05頃
コースの概要、特記事項、反省事項等							
<p>鋸山はロープウェイで登る山というのが定着しているせいか、TTC主催山行として、これまで一度も登山したことがない。</p> <p>そこで、頂上直下北面石切場から切り出した房州石を麓に運び出す作業道として昭和60年まで使用されていた「車力道」を、富津市側から登り、標高差100mに迫る垂直断崖の石切場跡や絶壁に刻まれた百尺観音等を見学しながら、地獄ノキに登り、スリルと360度の大展望を堪能した後、日本寺境内となる南面岩壁に祀られた数千鉢の石仏群を巡りながら、南側の鋸南町に下山する、通常の登山とはひと味違う「歴史と大展望ハイキング」を立案。下山後には、我国の3大水仙群生地の一つとされる鋸南町の「をくづれ水仙郷」(当日のスイセン〜五分咲き)にも立ち寄るプランとした。</p> <p>冬晴れの中、17名のメンバがマイクロバスに乗り。各所で交通渋滞に遭いながらも、約3時間を要して、JR浜金谷駅に到着。25分歩いて到着した登山口から車力道に入ると、主として女性が重量80kgの房州石ブロック3個を「ねこ車」と呼ばれた木製の手押し車に積んで、麓まで運んだ際の轍跡が残る敷石の道が続く。さらに登ると、切り出した石ブロックを滑らせて運んだ「石の樋道跡」や切通しも見られた。樹林帯の中に続く、車力道を40分登り、鋸山頂上(329m)に通じるルートを左に分けて右に進むと、観音洞窟、石舞台、レピュタの壁と呼ばれる石切場跡が次々に現れる。どれも稜線からほぼ垂直に削り取られ、所々洞窟や幾何学的な凹凸を持った、高さ100mに迫る垂直の岩壁。下から見上げた景観はまさに異次元の世界だ。レピュタの壁の左手岩壁につけられた摩耗した百数十段の石段を、眼下の東京湾の海岸線や雲上に浮かぶ富士山の大パノラマを眺めながら登りきると、日本寺北口料金所だ。岩壁に刻まれた百尺観音に参拝し、さらに石段を数百段登ると、地獄ノキのある展望台に到着。展望台屋上の陽だまりで、眼下に広がる360度の大展望を楽しみながら、少し遅めの昼食を摂った。その後、人間の顔にも見える絶壁に突き出た地獄ノキの先端に立ってスリルを楽しんだ。</p> <p>下山は南斜面に点在する数千鉢の羅漢、観音、地藏等の石仏群を拝見し、我国最大の坐像石仏日本寺「薬師瑠璃光菩薩坐像」(座高31m)を拝観して鋸岳登山を終了。をくづれ水仙郷と道の駅保田小学校に立ち寄って帰途に就く。</p>							